

『国立天文台所蔵貴重資料展示図録：解説』 正誤表（2022年12月現在）

該当箇所	誤	正
p.3	図2 志築忠雄	図2 志筑忠雄
	図3 太陽の図「宣明暦」	図3 月の満ち欠け『宣明暦』
	図9 「古今交触考」と合綴	図9 「古今交蝕考」と合綴
p.4	図35 天保暦法による	図35 寛政暦法による
	図59 望遠鏡観諸用記	図59 望遠鏡観諸曜記
p.5	志築忠雄	志筑忠雄
	「太陽の図」	月の満ち欠け
p.7	『靈憲候簿』は小石川三百下	『靈憲候簿』は小石川三百坂下
	弘化二年十月一日(1847年10月31日)	弘化二年十月一日(1845年10月31日)
p.8	古今交触考	古今交蝕考
	『日本長暦』 渋川春海著 貞享二年序 写本3冊	『日本長暦』 渋川春海著 写本3冊
p.9	ジョン・ケイル (John Keil) 「Introductio ad Veram Physicam」等	ジョン・ケイル (John Keill) 著 "Introductiones ad veram Physicam et veram Astronomiam"
	「重力」、「求心力」、「遠心力」、「楕円」といった言葉	「重力」、「求心力」、「遠心力」の言葉
p.11	小石川三百下	小石川三百坂下
	処は都営浅草線の九段下駅近くで向かい側の北の丸公園の濠際に	所は都営新宿線の九段下駅近くで、靖国通りを挟んで向かい側付近には
	元禄二年(1689)	元禄二年十一月二十二日(1690年1月2日)
	延享三年(1746)	延享四年(1747)
p.12	24節気における中世の時刻	二十四節気ごとの二十八宿南中時刻 (中星時刻)
p.13	信仰の対称	信仰の対象
p.14	「右 酉刻見	「右 酉刻以後見
p.15	初回出現した	前回出現した
	21時22.18分	21時22分18秒
	観測時間はおよそ22時頃	21時頃
p.16	考案された	考案された
p.18	頒暦商社	暦問屋
p.19	明治16年には内務省の	明治15年には内務省の
	天保暦法による「伊勢暦」	寛政暦法による「伊勢暦」
p.20	西洋暦法を取り入れた	西洋天文学を採り入れた
	遊子六	游子六
	貞享暦書	貞享暦
	『授時暦(経)図解』小泉光保著 元禄十二年	『授時暦(経)図解』小泉光保著 元禄十六年
p.21	寛政9年(1798)施行	寛政十年(1798)施行
	従来の円運動理論	従来の周天円理論
	長崎の通司	長崎の通詞
p.23	「Astronomie」1764年 全3冊 (フランス)	"Astronomie" 第2版 (1771 全3冊、フランス)
p.25	天象管(規)鈔	天象管闕鈔
p.28	「天文成象図」元禄12年(1699)	『天文成象』元禄十二年(1699)
	「天文星象図」長久保赤水 刊1鋪	「天文星象図」刊1鋪
p.29	貞享暦法巻二	貞享暦巻二
p.30	よりて今までの数にならぬのみ	よりて今までの数にならふのみ
	西洋暦法	西洋天文学
p.31	「望遠鏡観諸用記」橋春暉著	『望遠鏡観諸曜記』橋春暉著
	橋南溪 (1753-1805)	橋南谿 (1753-1805)
p.33-70	貴重書目録や貴重資料展示室の最新の情報は、ホームページをご覧ください。 ・文庫・コレクション https://library.nao.ac.jp/kichou/collection.html ・貴重資料展示室 https://eco.mtk.nao.ac.jp/koyomi/exhibition/	
	  文庫・コレクション 貴重資料展示室	